

令和7年12月23日

No.10



発行責任者

校長 有崎 美紀

自ら伸びる

府中中央小学校ホームページ <http://chuoso.fuchu-town.ed.jp>

【2学期終業式 校長の話】

響き合う可能性

今日で2学期が終わります。明日からの冬休みをどう過ごそうか、楽しみにしている人も多いことでしょう。

さて、この2学期も大きな山場がいくつもありました。その中でも私が印象に残っているのは、みなさんの声です。はちの子朝会や学習発表会で、マイクを使わないので体育館全体に響く声。それを受け止めるみなさんのまなざし。さわやかな緊張感を創り出すみなさんの姿をたのもしく感じました。

特に学習発表会でのみなさんの歌声は、心搖さぶる力がありました。でも、はじめからあのようないい歌声ではなかったはずです。一人で歌っているときにはあまり声が出なかつたけれど、先生の指導を受け、学級や学年全体で歌い続けていると、予想もしなかつたきれいな声が出てくることがあったでしょう。また、他のパートが良くなってくると、それにつれて自分のパートの声も良くなったり、合唱全体が良くなると一人一人のパートもまた良くなったり、何よりも歌うことが心地良くなってくることがあったでしょう。

これは、自分の中にあった良いものが、他の人の良いものに引っ張られて、今まで自分だけでは出せなかつた力が引き出されたのです。一人一人が良くなっていくと、それがまた全体をさらに高いものにしていくのです。

スポーツも勉強も同じです。ある一人が良いものを創り出すと、それが他の人に影響していき、他の人がさらに良いものを創り出していく。それが、また自分に戻ってきて、自分をさらに伸ばしてくれるのです。一人でスポーツや勉強をしていた時には、もっている5の力を5だけしか出せなかつたのに、5の力を10にしたり、20にしたりすることができるところが学校です。

学校とは、他の人から学び、他の人と影響し合うことによって、自分を新しく変えていく人間になるところです。

今日は、2学期締めくくりの日。がんばった過去の自分が、今の自分の支えとなっていることを感じるとともに、仲間の成長も共に喜び合いましょう。

今、季節は冬。冬は準備の季節、つまり内側を満たしていく季節です。葉が全部落ちて、一見枯れているように見える木も、内側では芽吹くための準備をしています。冷たい風や凍えそうな雪に晒されながら、じっと内側で燃えている、内側を満たしていく、そんな準備の季節です。

明日からの冬休みに、三学期に向け、どんな準備をしておくとよいか考えておくのもいいかもしれません。

新年が明けて、元気に満ちたみなさんに会えるのを楽しみにしています。

【2学期終業式児童代表の言葉】

1年1組 代表児童

わたしが二学年でがんばったことは、ちいきの人にあいさつをすることです。あさ、おうだんはどうをわたるとき、ちいきの人が見まもってくれています。まえは、はずかしくてあいさつができませんでした。でも、さいきんちいきの人にあいさつができるようになりました。おうだんはどうをわたるときに、「おはようございます。」というと、「おはよう。」とかえしてくれてげん気になります。

三学年は、もっと大きなこえではずかしがらないあいさつをしたいです。

1年2組 代表児童

ぼくが二学年でせいちょうしたことは、きゅうしょくをかんしょくできるようになったことです。にが手なやさいにもちょうせんしました。はじめてかんしょくできたとき、とってもうれしくて、すっきりした気持ちになりました。

これからも、まい日かんしょくしたいです。そして、にが手なことにもあきらめずにちょうどせんして、どんどん、ぐんぐんせいちょうしたいです。

1年3組 代表児童

わたしが二学年でこころにのこったことは、学しゅうはっぴょうかいで。わたしはナレーターでした。げきのはじめがわたしのせりふなので、ドキドキして、さいしょは大きいこえが出ませんでした。でも、先生とれんしゅうしたり力をこめてせりふをいったりして、ゆう気を出して大きなこえが出せるようになりました。

みんながおうえんしてくれたおかげで、げきが大せいこうしました。これからも、学校で大きなこえをだしたいです。

1年4組 代表児童

ぼくは、生つかのお手つだいはっぴょうかいで、おふろそうじのしかたをくわしくはっぴょうできました。ぼくは、いまも、おふろそうじをつづけています。いろんなどうぐをつかって、中だけでなくゆかもきれいにしています。おふろそうじをするのはたのしいです。

三学年もつづけて、ぴかぴかにして、気持ちのよいおふろにして、かぞくみんなによろこんでもらいたいです。

第3回はちの子デー ~より親睦が深まりました~

12月1日（火）2時間目に第3回はちの子デーを行いました。6年生がリーダーとなり、みんなが楽しめる遊びを考え、グラウンドや体育館、多目的ホールで班ごとにカードゲームや椅子取りゲーム、長縄跳びやドッジボール、「だるまさんが転んだ」等の遊びで、親睦を深めました。縦わり掃除で普段から仲良くなっている子どもたちですが、遊びを通して更に仲良くなりました。今後も縦割り班活動を通して、高学年は低学年を思いやることを、低学年は高学年に憧れお手本にして行動することを学びながら、「自ら伸びる」子どもたちであってほしいと願います。

だるまさんが転んだ！

みんなで8の字跳び
何回続くかな？

爆弾ゲームは
ハラハラ、ドキドキ



誰が最後まで残るかな？



寒さに負けず、縄跳び頑張っています！

1.2.3.4…。頑張れ～!!

縄跳びを通して体力の向上を図るために、12月から体育の授業や休憩時間に縄跳びを頑張っています。子どもたちは、いろいろな技の合格を目指し、各自が縄跳びのカードを持って、体育委員や縄跳び認定センターさんの前で縄跳びをしています。合格すると「やったあ。次も頑張る！」と歓声が聞こえます。技の習得を目指し、友達同士でコツを教え合ったり、一緒に練習したりする姿も見られます。



11月に、有志の保護者と子どもたちが製作してくださった縄跳び練習台も活躍中です！

「人権の花」贈呈式 ～みんなが幸せに暮らしていくために～

12月9日（火）に「人権の花」贈呈式があり、府中町人権擁護委員さんから3年生の子どもたちにヒヤシンスの球根をいただきました。「人権の花」贈呈式では、「白い魚とサメの子」の紙芝居を見た後、人権擁護委員さんのお話で、「人権とは、人間らしく幸せに生きる権利であること」「友達が困っていたら手を差し伸べて助けてあげられる等、お互いを思い合う優しい心をもった人になってほしいこと」等、自分や周りの人々の人権を守るために大切なことを教えていただきました。子どもたちは、「人に優しく接したい」「生命を大切にしたい」と考えていました。



いただいた球根は水耕栽培で育てます。花の成長とともにちはの子にも命を大切にする心や相手に対する思いやりの心が大きく育ち、花開いてくれることを願っています。

サンフレッヂュ広島レジーナ出前授業 ～未来に向かって～

12月11日（木）に6年生の総合的な学習の時間の学習として、「～志～未来に向かって自分の生き方を考えよう」をテーマに、サンフレッヂュ広島レジーナの選手から話ををしていただきました。「なりたい自分になるためにどのように過ごしてきたか」、「緊張した時にどのようにしてリラックスするのか」「今までに一番嬉しかったことやしんどかったことは何か」等、現役で活躍している選手からの体験談を通して、子どもたちは夢に向かって努力することの大切さや諦めない心を学びました。



一足早いクリスマス ～地域の方々に喜びを～



MERRY CHRISTMAS!



12月13日（土）に5年生有志の子どもたちが、高齢者福祉施設「府中みどり園」の皆さんに、クリスマスカードと歌やダンスの一足早いクリスマスプレゼントを届けに行きました。クリスマスカードは、CS サポーターさんの呼びかけにより、1～6年生有志の子どもたちが、図書室前で11月に作成したものです。「府中みどり園」の皆さんのが喜んでくださる姿を思い浮かべながら、子どもたちがマスキングテープやシールなどを使って、思い思いの飾りつけを行いました。サンタクロース代わりにカードを届けた子どもたちは、「府中みどり園」の皆さんの目線に合わせて姿勢を低くしたり、相手が聞き取ることができるようゆっくりと話したりする等、相手に応じた態度で接していました。また、相手の嬉しそうな笑顔を見て、「また来年も届けたい。」「最初は緊張したけど、だんだん慣れてきて楽しかった。」と喜んでいました。

はちの子祭り ~子どもたちが主体となり、祭りを盛り上げました~

12月15日（月）に子どもたちがとても楽しみにしていた「はちの子祭り」が開かれました。学年でテーマを決めてお店を開きます。この日に向けて、各学年や学級でどんなお店を出すのかアイディアを出し合い、何をどのように準備するか等、お店の運営方法や役割を決め、協力しながら準備します。身近な廃材等を利用し、必要な物を手作りで用意したり、国語科や生活科・理科・社会科・総合的な学習の時間等での学びを生かしたりする等、子どもたちが協働して当日を迎えた。

この行事は、中央小学校の伝統的な行事の一つであり、はちの子たちが主体となって創り上げる行事です。子どもたちが関わり合い、「みんなが楽しめる祭りを創る」という目標に向かいながら、様々なところで成長していきました。まさに、本校の育てたい「自ら伸びる」姿がたくさん見られ、笑顔に溢れた「はちの子祭り」でした。子どもたち自らが暮らしを創り、「自ら伸びる」ことができるよう、これからも様々な教育活動を行っていきたいと思います。



マイ防災袋には、何を入れようかな。



磁石を使って、迷路をクリアするよ。



松ぼっくりけん玉は難しいね。



都道府県パズルにチャレンジ！！

「じまんの俳句」代表作品

今回は、子どもたちが代表作品を選んだクラスもあります。作品の良さを見つける目、そして感性が育ってきたのだとうれしく思います。近づく冬休み、クリスマス等、テーマはたくさんあります。今後も、すてきな作品がたくさん集まるのを楽しみにしています。

図書室前で自由に投句する子どもたち



むきむきだ きんトレして かまきりくん

一年 代表児童

す句つ思ムよ
。全体とお世話
から、作者のカマ
キリへの愛情が
感じられる作品
で俳すと
毎日のようにカマキリを連れて学校に来ていた○○さん。
毎日のようにカマキリついて筋肉がしつかりついていて、ムキ
ついたところがユニークです。カマキリが大好きで、ずっと
からこそ生まれた俳句だと思います。

発表会 頭がとび出る お父さん

四年 代表児童

先日、終わった学習発表会をテーマにした俳句がたくさん
集まりました。ひな壇から会場を眺めると、たくさんの保護者
者が見えます。そんな中で、一人だけぴょこんと頭がとび出
ていて、○○さんは、それがすぐに「あっ、お父さんだ。」
と気付いたのでしよう。必死に我が子を見ようとして首を伸
ばし、身を乗り出しているお父さんの姿と、たくさんの人の
が中から自分の親を見つけて喜んでいる作者の両方の気持ち
が伝わってきます。

夏からの 思いぶつける 合奏に

六年 代表児童

発表会に向けて六年生は、夏休みから練習を始めました。
確かに、六年生の合奏は見事でしたね。○○さんだけでなく、
六年生全員が、練習の時から積み重ねてきた思いを本番にぶ
つけた成果が、あらわれていたのです。この俳句を読む
と、あの時の音楽まで聞こえてくるような気がします。

☆☆☆おめでとうございます☆☆☆

★府中町青少年育成町民会議「家庭の日の作文」★

【特 選】

【入 選】



★広島県科学賞★

【入 選】

【努力賞】

★第58回青少年読書感想文広島県コンクール★

【入 選】

★税に関する絵はがきコンクール★

【金 賞】

【入 選】

★第69回JA共済書道コンクール★

【広島県教育委員会賞】

★第74回交通安全ポスター・作文コンクール（広島県交通安全協会）★

【佳 作】

【努力賞】

【お知らせ】

○12月28日（日）から1月4日（日）までは、町内の役場・学校は一斉に閉庁となります。学校内に立ち入ることはできません。

○冬季休業中に学校へのご連絡が必要な場合は、年内は12月26日（金）まで、年明けは1月5日（月）からお願いします。12月27日（土）～1月4日（日）で緊急の場合は、学校の携帯電話（070-1591-1383）までご連絡ください。

今年も様々な面で学校を支えていただき、ありがとうございました。
健康に留意され、皆様よいお年をお迎えください。

